

令和7年度 第2回白馬村図書館協議会 議事要旨

日時：令和7年12月23日（火）午後3時45分～
場所：白馬村保健福祉ふれあいセンター 学習室

区分	氏名	所属	出欠
委員	富山 正明	白馬村社会教育委員長	○
	太田 洋一	白馬村公民館長	—
	本多 希	白馬高等学校	—
	篠崎 千恵	白馬南小学校	—
	高橋 英子	公募委員	○
	伊藤まゆみ	公募委員	—
	戸谷小百合	公募委員	—
	千國幸子	公募委員	—
事務局	鈴木 広章	生涯学習スポーツ課長兼図書館長	○
	松沢 由美子	白馬村図書館司書	—
	大坪 裕子	白馬村図書館司書	○
	山岸 由美	白馬中学校図書館司書	○
	海端 弥生	白馬北小学校図書館司書	○
	内川 直人	生涯学習スポーツ課生涯学習係長	○

1. 開会

2. あいさつ

○富山委員長

今年のベストランキングを見ると、「大ピンチずかん」が1位だった。本に対する意識や要望が変わっていると感じる。要望がどのようなところにあるのか、図書館として何を持っているべきか、改めて考える必要がある。次期計画策定に向け、ご意見をいただきたい。

3. 会議事項

（1）第4次図書館基本計画の策定について

事務局が基本計画（案）で追記した内容（資料P1～18青字部分）について説明。

○事務局

第6次総合計画の基本構想（案）が示され、その内容を踏まえて基本理念と方針について事務局案を作成した。あくまで叩きであるため広くご意見いただきたい。

○委員

資料中、「有効利用」の定義は何か。

→事務局

登録者の内、貸し借りを行った人数である。

○委員

来館して資料検索のみの利用者もいるはずなので、何らかの形で来館した人数をとらえることが必要ではないか。

本の貸し借りにとらわれず、本がある場所で何かを感じてもらうことが大事と考える。

○委員

どんな本の貸し借りが多いのか。

→事務局

子ども向けは「しづくちゃん」、「パンどろぼう」が人気。大人が子どもに読みたい本としてのニーズもある。

大人向けは東野圭吾作品が圧倒的である。また、本屋大賞作品は反応が早いと感じる。

一方で芥川賞・直木賞作品は難しい印象。

○委員

どういった本をそろえていけばいいのか非常に難しいが、地域資料については図書館の資料として必要と考える。サービスの部分と役割の部分があると思うので、地域資料を見つけたら図書館として保管する使命がある。地域資料の収集活動と活用の企画についても検討していく必要がある。

○委員

図書館の使い方について、時間つぶしに図書館を利用することもある。

○委員

読みたい本を借りに行く場合と、本との出会いを求めて行く場合があると思う。いろいろな種類の本があるのが図書館の魅力だが、インターネットですぐに検索できる状態との闘いだと感じる。図書館に足を運ぶきっかけづくりをし、来てくれた人をつなぎとめる仕掛けが必要ではないか。

○委員

新規登録者を増やすという部分では、他団体、特に中高生あたりとの連携がいいのではないか。企画・立案から携わってもらうのもいいと思う。

○委員

日頃から感じるのは、情報共有の仕組みが整えばということ。それぞれがバラバラに発信するので、終わってから知るイベントなんかも結構ある。図書館でチラシや情報を集約し、「図書館に行けば何でも揃う」という新たな価値を生み出してはどうか。そのためには掲示物のルールなんかも見直してほしい。

○委員

必要事項の決定は館長か、教育委員会か、村のルールの中で精査いただきたい。

○事務局

いただいた意見を参考に案を再検討させていただく。

(2) 白馬村図書館資料の収集及び選定に関する基準について

事務局が資料P19~21について説明。

○事務局

外国語資料に関する部分や、詳細を示した別表を追加し、従来のものを補強した。

○委員

従来のものに加えるという意味か。

→事務局

全部改正である。

○委員

図書館資料は広く持つていればいい。特に郷土資料は積極的に収集してほしい。利用者の要望は都度変わるので、細かい記述は要らないのではないか。

外国語資料については英語だけでは貰えなくなってきており難しい。どのようなものが求められるか時間をかけて調べてはどうか。

○委員

同じタイトルでもサイズが異なり「欲しかったものと違う。」と言われるケースもある。

洋書については寄贈を受けるところから始めてはどうか。

○事務局

いただいた意見を参考に案を再検討させていただく。

4. その他

事務局から令和8年度の購入雑誌について提案。事務局案のとおり承認された。

○事務局

令和7年度をベースに、「現代農業」を「NHK趣味の園芸やさいの時間」に戻し、「B E - P A L」を一旦休止したい。

白馬村は農業を行う方が多いので、より専門的な内容を望む声があり「現代農業」を試したが、本格的な内容で文章が多く、貸し出しが少なかった。内容がわかりやすく、カラー写真を多用している「NHK趣味の園芸やさいの時間」に戻したい。

「B E - P A L」はここ数年貸し出しが右肩下がりに減少しており、今年は昨年までと比較し半分以下になってしまった。他の雑誌と比較し価格も非常に高額なため、一旦休止したい。

○委員

理由なき変更はすべきでないが、利用が減ってきたという明確な理由があるため異議なし。利用率は客観的に判断する明確な物差しである。要望が増えてきたら改めて検討でいいと考える。

○事務局

ビジネス・経済分野も検討したが、週刊誌のため高額で予算的に難しい。教育・語学・育児の分野で選ぶことや、他市町村の実績を参考に引き続き研究していく。

○委員

ビジネス・経済の分野は日々最新の情報が求められるので、回転が速い。そのため、不要になるのも早い。図書館資料としては、経済やお金の仕組みなど根本的な部分のものでいいと考える。

○委員

育児の分野は保育園などを経由して利用者が入手できるのではないか。

○委員

固定ではないので、多様化している要望に対して都度検討とする。

以上

5. 閉会